

筑波大学法科大学院  
令和2年度入学者選抜 法学未修者コース筆記試験

未修者コースの筆記試験では、読解力、論理的思考力、分析力、論述能力をみます。法律学の専門知識を問うことはありませんが、法的分野に関連する問題が出ることはあります。

《出題趣旨》

【第1問】

社会の高齢化が一層進む中、医療技術も発達し、さまざまな延命措置が可能になっている。しかしながら、延命にはなっても元気でない期間が長くなることについて、原文の筆者は疑問を呈し、現代の医学もしくは医療は、人の死を特別視して、人間は必ず死ぬことを前提としていないのではないか、人の死を受け入れることも重要なのではないか、との価値観・倫理観を述べている。このような筆者の主張を十分に理解し、適切に分析・要約し、また、筆者の見解に対する自己の見解を論理的に述べられるか、について問うた。

【第2問】

現代社会においては、事件・事象の責任をだれにどのように追及するかが、かつてないほど厳しく問われている。しかし、却って「責任」とは何かにつき、あいまいになっているところがある。原文の筆者は、「現代社会における責任」の概念につき、哲学的な観点から考察を加えている。このような筆者の主張を十分に理解し、適切に分析・要約し、筆者の見解に対する自己の見解を論理的に説明できるか、について問うた。

以 上